

平成30年4月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	H30年4月 数量 (トン)	H30年4月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	大根	神奈川県産・千葉県産中心の販売でした。高温と3月までの高値反動により、厳しい販売状況となりました。	408	89	91%	84%
2		キャベツ	神奈川県産を中心に、愛知県産・千葉県産の販売でした。高温、降雨の影響により、やや前倒しの出荷となりました。	976	97	86%	76%
3		トマト	熊本県産・愛知県産中心の販売でした。平年並みの入荷でしたが、前年より数量減となりました。	313	323	86%	99%
4		レタス	茨城県産中心の販売でした。適度の降雨と高温の影響により、大玉傾向の入荷となりました。	332	162	108%	77%
5		馬鈴薯	過去3年は単価高でしたが、鹿児島県内の降雨の影響により入荷が安定せず、平年並みの単価で推移したため、安値基調となりました。	391	121	86%	51%
6	果実	甘夏	熊本県産・鹿児島県産中心の販売でした。天候不順の影響により、小玉傾向で数量減となり、単価は平年並みで推移しました。	59	198	72%	101%
7		ふじ	産地在庫が前年の74%の影響により、数量減、単価高で推移しました。	315	348	76%	125%
8		いちご	瞬間的なピークはあったものの、全体的に玉伸びせず、数量減で推移しました。また、品質も悪く、単価は下降気味となりました。	184	1,118	89%	102%